

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	7th Sense 彩都駅前（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 10日 ～ 2025年 3月 22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2025年 3月 10日 ～ 2025年 3月 22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	終了しても残る力を育成 (将来の自立につながるような支援)	現在、レッスン開始時に「立腰・呼吸・暗示」の取り組みを入れています。①「立腰」は腰骨を立てる姿勢をとり、②「呼吸」で鼻から息を吸い口から吐く深い呼吸をし、最後に③「大丈夫できる」「わたしはできる」と「自己暗示」をします。毎回の療育時に継続して取り組むことで、ポジティブな姿勢と折れない心（レジリエンス）を育てる取り組みをしています。 さらに、広い意味での学習(教科学習以外も含む)のベースとなる支援や、具体例を用いたライフスキルトレーニング（ソーシャルスキルトレーニング）の実施も行っています。	今後も立腰・呼吸・暗示の取り組みを実施していきます。難しい姿勢の保ち方や暗示(自身のないこどもが「できる」と言うこと)が当たり前のようにできるように工夫をしていきたいと思っています。 ライフスキルトレーニング(ソーシャルスキルトレーニング)において、般化が難しい場合もあるので、家庭や園などの他機関とも連携し、こどもが混乱なく身につけていけるよう務めてまいります。
2	こどもの特性等に応じた専門性のある支援	指導員の専門的な知識や経験を活かし、今、こどもにとって何をすべきか、何が必要か、発達年齢にあっているか、生活年齢からみたらどうか等を密に話し合い、支援に取り組んでいます。 必要に応じて保護者の方の承諾を得て、心理的なアセスメントを取らせてもらい、メンタル部分についての支援もさせていただきます。	こどもの支援目標や興味関心等に合わせて、各職員の専門性を活かした支援を今後もしていきたいと考えます。 職員間のスキルをさらに活かせるよう指導員が研修をすることを継続していきたいと思っています。また職員に対しての個別相談等を実施し、各職員が興味をもち学びたいと思えるような職場環境を作っていく予定です。
3	こどもや家族からの相談対応力	相談や申入れに対して、できるだけその場で対応するように心がけています。それが難しい場合は面談の予定を組み、時間をかけて、ご相談の対応-具体的な方法をさせていただいております。	現在は、保護者の皆さまからのご相談に対応する形が主となっていますが、今後は事業所からも相談対応の時間等を発信し、皆さまが相談しやすいよう体制を整えていきたいと考えます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催について	保護者会について保護者の皆さまからご要望があり、計画はあるものの、現状実施できておりません。 現在は同時間帯の送迎時に、皆さま自ら情報共有等をされていることが多く、事業所としてはそれをアシストぐらいにこなしています。	今後は、実施していく方向で考えております。 実施の際は、全体発信をさせていただきます。
2	活動概要等の発信力	活動概要に関しては療育の報告(写真等を含む)ぐらいで、全体的な告知ができておりません。	今後は紙面あるいはデータにて活動報告やブログ等で活動に関する発信を行うように努めます。
3	家族支援プログラムの実施	療育のフィードバックは療育内容に関することが多く、家族の対応についてのお話をさせていただく時間の確保は不十分と感じています。	今後、事業所として家族の対応力の向上を図るためにペアレントトレーニング（ペアレントプログラム）の実施を検討したいと考えております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	7th Sense 彩都駅前（児童発達支援）
------	------------------------

公表日 2025年 4月 14日

利用児童数 16（2025年 3月 22日現在） 回収数 12

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	3				適切に確保しているつもりですが、疑問等ございます場合は、随時お尋ねください。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1				療育の個室で行っております。事業所はバリアフリー化しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1				毎日清掃し心地よくご利用いただけるよう努めております。また気づいた時に気づいた職員が清掃に従事しております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12					情報共有を十分にし、有資格の専門指導員を中心とした支援会議で意見交換をしています。また、職員研修を通じて専門性の向上に努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					年度末に支援プログラムを公表させていただきますので、ご覧ください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	1				事業所内の様子に加えて、家庭や学校等での様子、また発達検査の結果も考慮して計画を作成してまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	3				お子様に必要な支援項目を設定し、具体的にわかりやすい支援内容の設定に努めてまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1				定期的に計画に沿っているか、職員とともに確認しております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	2		1		固定化されないよう工夫をしております。 継続支援内容によっては固定化にみえるかもしれませんが。その場合でも固定化ではなく、難易度があるなどの変化がみられます。その都度ご説明できるように努めてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5		3	4		現在、保育所や認定こども園等との交流はしておりますが、今後柔軟に対応してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					契約時に契約書・重要事項説明書の読み合わせを行っております。ご不明は点は随時お尋ねください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1				面談の際に説明し、同意を得て作成しております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	1	3		療育の振り返りの際、家庭での支援の方法についてもお伝えしております。 ご要望も頂戴しております。 今後ペアレン・トトレーニングもしくはペアレント・プログラムを開催できるように努めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12					普段からお子様についての共通理解を進めていけるように努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2				定期的な面談以外にもご相談を受けてつけておりますので、いつでもお気軽にお声掛けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1				お子様・ご家族のお話や思いを受け止め、支援に反映させられるよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	5	3		現在、計画はあるのですが、実施までに至っておりません。今後、座談会形式の交流会は設けていきたいと考えています。 今後も保護者の方へ必要な情報を個々に提供できるよう努めてまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12					相談や申入れについては電話・公式LINE・送迎の際等いつでもお気軽にお声掛けください。後日改めて面談の時間を設けることも可能です。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					意思の疎通や情報伝達に配慮し、より安心してお話いただける環境を整えるよう努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1	1	4		紙面あるいはデータの活動報告やブログ等で活動に関する発信を行うように努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			1		書類等は鍵付き書棚に保管をしております。情報共有の際にも個人情報の取扱いに留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12					マニュアル等を誰でもいつでも確認できるよう、より周知できる場所に設置するよう努めます。事故災害等が発生したと設定した避難訓練の実施はもちろん、その報告もきめ細かくしていくよう努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12					災害時を想定した職員の定期的な訓練や、利用児童も含めた避難訓練を実施いたしました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12					安全計画は事務所にどなたでもご覧いただける場所に設置しております。より周知できる方法を模索してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1		2		事故等が発生した際、お電話またはLINEにて速やかに連絡する体制を整えておりますが、今一度、職員間での周知徹底をし、誰もが対応できるよう努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	1				安心して通っていただけますようこれからも努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	1	1		いいえ、母子分離に対していつも嫌がりクラスに行くのを嫌がっていたことと、座っての作業が得意でなかったのが楽しみとはいかなかったと思いますが、参加する中での楽しい時間は必ずあったように見えます。	楽しく通所していただきありがとうございます。今後も楽しみを見出せるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				レッスン後の授業におけるフィードバックだけでなく定期的な面談による支援のフォローのアドバイスを頂けるありがたいです。こちらから相談の為に声がけして初めていろいろお聞きできるとうい感じなので、定期的にあると家出できる支援の修正が早く出来、本人のためになるのでお願いしたいです。	定期的な面談による支援が行き届いておらず、申し訳ございません。今後は定期的な面談を設けて、そこで支援等のお話ができるよう努めてまいります。今後も支援に対してご要望がございましたらいつでもお知らせください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		7th Sense 彩都駅前（児童発達支援）					公表日	2025年 4月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個別療育においては十分な広さを確保できています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリーに対応しています。 色彩をおさえた部屋を用意することで、視覚過敏のお子さんにも対応できるようにしています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		原則レッスンは個別で行っています。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	△		定期的に会議を実施、情報共有を行っています。	会議に全員参加ができない時もあり、その時に確実に共有するように努めてまいります。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回事業所アンケートを行っております。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な会議の実施、個別面談等の機会を設け、業務改善につなげるようにしています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価は実施しておりません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に法人内研修を行っています。 市主催の研修会や外部の研修会にも積極的に参加し、資質向上に努めています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		入所前(体験レッスン)のアセスメント、こどもと保護者のニーズの確認、発達検査の結果等を総合し、客観的に分析し作成しております。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援会議を開催し、支援内容を検討しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		こどもの適応行動の確認は、日々の行動観察等のインフォーマルなアセスメントが主となります。 フォーマルなアセスメントとしては保護者から提供される検査結果が主となります。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○					

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			継続して取り組む支援は固定化しているように見えるかもしれませんが、少しずつ難易度はあがっています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		療育終了後は報告書の記載を徹底し、かつ別シートにアセスメントとなる情報記載・情報共有をし、改善につなげるよう努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	△			今後、積極的に連携をしていきたいと考えております。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在予定はございませんが、前向きに検討いたします。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	△		LINE等で、市開催あるいは他機関での家族支援プログラム等の情報共有は行っています。	事業所内においては個別での対応になることが多く、今後はペアレント・トレーニング、ペアレント・プログラムの実施を検討していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		毎療育後の説明時、LINE等の連絡帳、あるいはお電話でご相談いただいた時は、その場あるいは面談の予定を組み、助言・支援を行っております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		計画はあるのですが、実施できておりません。今後は実施できるよう行動していきたいと考えます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		必要に応じて、対応しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		現在、定期的な発信はできておりません。職員からも定期的な発信を望む声を上がっていますので、具体的に進めていこうと考えます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書棚に保管し、取り扱いには十分配慮しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成しています。発生を想定した訓練も、個別療育の際に行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		初期アセスメントの時、あるいは薬が変わった段階で共有いただき、事業所内にて情報共有を行っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食事の提供はしておりません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ファイルを準備して、情報共有を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的な研修および防犯カメラの各部屋、事務所に防犯カメラの設置をしております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	7th Sense 彩都駅前(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 10日 ～ 2025年 3月 22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49 (回答者数)	28(3組の兄弟通所の場合でも1回の回答になっています)
○従業者評価実施期間	2025年 3月 10日 ～ 2025年 3月 22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	終了しても残る力を育成 (将来の自立につながるような支援)	現在、レッスン開始時に「立腰・呼吸・暗示」の取り組みを入れています。①「立腰」は腰骨を立てる姿勢をとり、②「呼吸」で鼻から息を吸い口から吐く深い呼吸をし、最後に③「大丈夫できる」「わたしはできる」と「自己暗示」をします。毎回の療育時に継続して取り組むことで、ポジティブな姿勢と折れない心(レジリエンス)を育てる取り組みをしています。 さらに、広い意味での学習(教科学習以外も含む)のベースとなる支援や、具体例を用いたライフスキルトレーニング(ソーシャルスキルトレーニング)の取り組み(将来に必要なであろう文章作成力、PCによる資料作り、発表の練習等々)も含めたにも力を注いでいます。	今後も立腰・呼吸・暗示の取り組みを実施していきます。難しい姿勢の保ち方や暗示(自身のない子どもが「できる」と言うこと)が当たり前のようになれるように工夫をしていきたいと思っています。 ライフスキルトレーニング(ソーシャルスキルトレーニング)において、般化が難しい場合もあるので、家庭や園などの他機関とも連携し、子どもが混乱なく身につけていけるよう努めてまいります。
2	子どもの特性に応じた専門性のある支援	指導員の専門的な知識や経験を活かし、今、子どもにとって何をすべきか、何が必要か、発達年齢にしているか、生活年齢からみたらどうか等を密に話し合い、支援に取り組んでいます。 必要に応じて保護者の方の承諾を得て、心理的なアセスメントを取らせてもらい、メンタル部分についての支援もさせていただいています。	子どもの支援目標や興味関心等に合わせて、各職員の専門性を活かした支援を今後もしていきたいと考えます。 職員間のスキルのバラツキをできるだけ小さくするよう、研修や個別相談等を実施し、各職員が興味をもち学びたいと思えるような職場環境を作っていく予定です。
3	子どもの状況や発達の状況の保護者との共有およびそれに合わせた対応	通常は、療育終了後の振り返り、その後の報告書の送付等で保護者の皆さんへ療育の様子をお伝えしています。 また送迎時に保護者の方で気になっていることなども承っており、支援にどのようにつながるか等の取り組みもしております。それ以外にも、お電話やLINEで情報共有や相談対応などもしております。 原則個別療育のため、他者とのかわりや集団の中での様子等は保護者の皆さんから共有していただくか、保護者の皆さんから承諾いただいた場合のみ、学校とも情報共有をして、できるだけ自分たちの見方のみに偏らないように努めています。お話を伺った上で、個別療育の特性を活かした支援方法を話し合い、療育を行っています。 また、療育内で気づいたことやご家庭での支援方法等は、児童発達支援管理責任者のみならず、直接指導員より専門的な視点からのお話を保護者の方にさせていただいております	今後も担当指導員のみならず、皆が観察力を活かし、子どもの「今」に丁寧に寄り添って支援をしていくよう努めてまいります。 子どもの強みはもちろん、レジリエンスにつながる要素等を伝えること、ネガティブにとらえがちなことを多面から見たときの意味合いやその方法(リフレーミング)、今この瞬間だけでなく将来から今を見た支援等々も共有していけるよう努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催について	保護者会について保護者の皆さまからご要望があり、計画はあるものの、現状実施できておりません。 現在は同時時間帯の送迎時に、皆さま自ら情報共有等をされていることが多く、事業所としてはそれをアシストぐらいにとなっています。	今後は、実施していく方向で考えております。 実施の際には全体発信でお知らせいたします。
2	家族支援プログラムの実施	現在、活動概要に関しては療育の報告(写真等を含む)ぐらいで、全体的な告知ができておらず、ご希望をいただいた時のみ個別で対応をさせていただいております。 皆さまに一様に周知ができていないのが、現状でございます。	今後は、事業所として家族の対応力の向上を図るためにペアレントトレーニング(ペアレントプログラム)の実施を検討したいと考えております。
3	放課後クラブ等、地域の他の子どもと活動する機会がない	放課後児童クラブや児童館との交流については、主な支援が個別療育ということもあり、児童同士の交流は難しいと考えています。	左記の交流についても実施の希望がございましたら検討してまいります。 漢字検定の開催時のみ、人数に余裕がございましたら、地域の皆様にもご利用いただいております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 7th Sense 彩都駅前(放課後等デイサービス)

公表日 2025年 4月 12日

利用児童数 49 (2025年3月22日現在)

28(3組の兄弟通所の場合でも1回収数 回の回答になっています)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	3	0	0		適切に確保しているつもりですが、疑問等ございます場合は、随時お尋ねください。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26	1	0	1		偏りを感じる方もおられるかもしれませんが、今後偏りがないように適切に確保できるように努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	1	0	1		療育は個室で行っております。事業所はバリアフリー化しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	1	0	1		毎日清掃し心地よくご利用いただけるよう努めております。また気づいた時に気づいた職員が清掃に従事しております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	0	0	0		情報共有を十分にし、有資格の専門指導員を中心とした支援会議で意見交換をしています。また、職員研修を通じて専門性の向上に努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1	0	2		年度末に支援プログラムを公表させていただきましたので、ご覧ください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	1	0	1		事業所内の様子に加えて、家庭や学校等での様子、また発達検査の結果も考慮して計画を作成してまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイスービスガイドラインの「放課後等デイスービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	1	0	1		お子様に必要な支援項目を設定し、具体的にわかりやすい支援内容の設定に努めてまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1	0	1		定期的に計画に沿っているか、職員とともに確認をしております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1	0	2		固定化されないよう工夫をしております。継続支援内容によっては固定化にみえうかもしれませんが、その場合でも固定化ではなく、難易度があがるなどの変化がみられます。その都度ご説明できるように努めてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	14	8		現在、放課後クラブ等との交流はしておりますが、今後柔軟に対応してまいります。
保 護 者 へ の	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	0	1		契約時に契約書・重要事項説明書の読み合わせを行っております。ご不明な点は随時お尋ねください。
	13	「放課後等デイスービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	2	0	3		面談の際に説明し、同意を得て作成しております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	3	3	5		療育の振り返りの際、家庭での支援の方法についてもお伝えしております。ご要望も頂戴しております。今後ペアレン・トトレーニングもしくはペアレント・プログラムを開催できるように努めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28	0	0	0		普段からお子様についての共通理解を進めていけるように努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	1	0	1		定期的な面接以外でもご相談を受けてつけておりますので、いつでもお気軽にお声掛けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1	0	0		お子様・ご家族のお話や思いを受け止め、支援に反映させられるよう努めてまいります。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	10	10	現在、計画はあるのですが、実施までに至っておりません。今後、座談会形式の交流会は設けていきたいと考えています。 今後も保護者の方へ必要な情報を個々に提供できるよう努めてまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	2	0	1	相談や申入れについては電話・公式LINE・送迎の際等いつでもお気軽にお声掛けください。後日改めて面談の時間を設けることも可能です。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	0	1	0	意思の疎通や情報伝達に配慮し、より安心してお話いただける環境を整えるよう努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	1	1	8	紙面あるいはデータの活動報告やブログ等で活動に関する発信を行うように努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1	0	2	書類等は鍵付き書棚に保管をしております。 情報共有の際にも個人情報の取扱いに留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	0	0	3	マニュアル等を誰でもいつでも確認できるよう、より周知できる場所に設置するようしてまいります。 事故災害等が発生したと設定した避難訓練の実施はもちろん、その報告もきめ細かくしていくよう努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	0	0	1	災害時を想定した職員の定期的な訓練や、利用児童も含めた避難訓練を実施いたしました。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	0	0	2	安全計画は事務所にどなたでもご覧いただける場所に設置しております。より周知できる方法を模索してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	0	0	7	事故等が発生した際、お電話またはLINEにて速やかに連絡する体制を整えておりますが、今一度、職員間での周知徹底をし、誰もが対応できるよう努めてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28	0	0	0	安心して通っていただけますようこれからも努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	0	0	3	楽しく通所していただきありがとうございます。今後も楽しみを見出せるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	0	0	0	支援に対してご要望がございましたらいつでもお知らせください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		7th Sense 彩都駅前(放課後等デイサービス)				公表日	2025年 4月 12日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個別療育においては十分な広さを確保できています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリーに対応しています。色彩をおさえた部屋を用意することで、視覚過敏のお子さんにも対応できるようにしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		原則レッスンは個別で行っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	△		定期的に会議を実施、情報共有を行っています。	会議に全員参加ができない時もあり、その時に確実に共有するように努めてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回事業所アンケートを行っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な会議の実施、個別面談等の機会を設け、業務改善につなげるようにしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価は実施しておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に法人内研修を行っています。市主催の研修会や外部の研修会にも積極的に参加し、資質向上に努めています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		入所前(体験レッスン)のアセスメント、こどもと保護者のニーズの確認、発達検査の結果等を総合し、客観的に分析し作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		こどもの適応行動の確認は、日々の行動観察等のインフォーマルなアセスメントが主となります。フォーマルなアセスメントとしては保護者から提供される検査結果が主となります。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を組み合わせ支援を行っている場合には、組み合わせた計画書を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		療育終了後は報告書の記載を徹底し、かつ別シートにアセスメントとなる情報記載・情報共有をし、改善につなげるよう努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		提示された療育のプログラムの中から選択する、順番を決める等、自己決定ができるよう支援を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		今年度は児童発達支援センターとの共有はありませんでしたが、今後は連携を図っていききたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		積極的な交流はできておりませんが、漢字検定開催の際は地域の方の参加も受け入れています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		自立支援協議会への参加はできておりません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	△		LINE等で、市開催あるいは他機関での家族支援プログラム等の情報共有は行っています。	事業所内においては個別での対応になることが多く、今後はペアレント・トレーニング、ペアレント・プログラムの実施を検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		毎療育後の説明時、LINE等の連絡帳、あるいはお電話でご相談いただいた時は、その場あるいは面談の予定を組み、助言・支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		計画はあるのですが、実施できておりません。今後は実施できるよう行動していきたいと考えます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		現在、定期的な発信はできておりません。職員からも定期的な発信を望む声を上げていますので、具体的に進めていこうと考えます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書棚に保管し、取り扱いには十分配慮しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成しています。発生を想定した訓練も、個別療育の際に行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		初期アセスメントの時、あるいは薬が変わった段階で共有いただき、事業所内にて情報共有を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食事の提供はしておりません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ファイルを準備して、情報共有を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的な研修および防犯カメラの各部屋、事務所に防犯カメラの設置をしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			